

学園だより

発行 学校法人
 ノートルダム清心学園
 清 心 中 学 校
 清 心 女 子 高 等 学 校
 倉敷市二子1200
 ☎701-0195
 TEL(086)462-1661
 FAX(086)463-0223
 URL <http://www.nd-seishin.ac.jp>

編集 広報 部



学園のシンボル・聖堂

気温が激しく変動したこの冬も終りに近づき、日差しの柔らかな春へと向かう今日の佳き日、ご来賓・保護者の皆様をお迎えし、また、ノートルダム清心学園シスター渡辺和子理事長のご臨席を賜り、皆様の暖かいお心に包まれて第六十八回卒業証書授与式を挙行できますことは、本当にありがとうございます。卒業生と共に心から厚く感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、私は残念ながら清心生としての皆さんの学校生活をほとんど共にすることはできませんでした。それでも今日の日を迎えた皆さんの表情の中に、高校生活の日々を伺い知ることができるように思います。

人生の歩みはその時その時にはどのような模様を紡いでいるかわからない、けれどもいつの日かそこに、



愛する勇気を

校長 Sr. 三宅 聖子



聖ジュリー・ピリアート

自分らしい模様が浮かんでくる、という言葉を聞いたことがあります。うれしいこと、悲しいこと、悔しいこと、楽しいことがあった清心での3年間、6年間、今どのような模様が浮かんできているのでしょうか。

私たちの学園では、卒業の日そこに浮ぶ模様が、あなたらしい「心の清い愛の人」になりつつあることを夢見ています。このような夢は、現実の厳しさを知らない、きれいな夢にすぎないのでしょうか。

歴史を振り返ってみると夢によって多くのことが始まりました。夢は一人の人の人生を方向付け、その夢によってグループや団体が生まれ、時には社会に大きな変革をもたらしました。夢を抱いた人々は、それぞれの重い現実の中で夢を現実化しようともがき闘いました。夢は使命でもありました。

今日皆さんはこの学び舎を旅立ちます。これからは、「愛」とか「清さ」とかいったことを耳にするこ

とは少なくなるでしょう。耳にしても違った意味合いで語られることが多いと思います。

私たちの学園の創立者マザー・ジュリーの時代と同じく、混迷し先が見えない不安に包まれる今、人と人とのつながりが断たれ、苦痛にさえなる今の時代であるからこそ、「心を清くし愛の人」であろうとする夢に生きることは、現代に求められる勇気ある生き方だと思えます。

ここにあなたの母校があります。夢が輝く時、しばむとき、いつでも丘を登って訪ねてください。

マザー・ジュリーに愛する勇気を与えられた善き神様の祝福が、これからの日々に豊かにありますようにとお祈りして、私の式辞といたします。



清心学園校訓

卒業生に贈る言葉



中学生徒会長 横山 はるな

桜の花が待ち遠しい季節となりました。義務教育修了おめでとうございました。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

先輩方は今まで、この清心中学校を引っ張り、学校行事ではいつも中心となつて活躍されていました。私たちは先輩方の姿を見て、日々皆さんの大切なことを学ばせていただきました。春からは私たちの手で、先輩方が作り上げてくださった清心中学校の伝統を受け継いでいきたいと思っています。

先輩方の新たな一歩が光り輝きますように、心からお祈りいたします。



高校生徒会長 岡阪 美心実

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先輩方には部活動や委員会、校外活動などで大変お世話になりました。いつでも笑顔で先頭に立ちました。私たちが引張って下さった先輩方の姿は憧れであり、私達が後輩に示していくべき上級生としての姿のお手本でもありました。大学進学後もこの二子の丘での学びを活かしてより一層活躍されること存じます。そして文化祭などの時は是非遊びに来て下さい。最後になりましたが、卒業生の皆さんの更なる御多幸と御健勝をお祈り申し上げます。

卒業に寄せて

高3生徒 保護者
永山 聖美

清心の丘にまた芽吹きの季節が訪れています。今年はお山笑う姿を夢に見ながら、ひと足先に学び舎を後にすることになりました。四季折々の里山の美しさに囲まれて学べたことは、素敵な思い出のひとつになるでしょう。高校生としての三年間は進路への希望、期待や不安、そして努力の月日であったと思えます。その中、友情を育み、はつらつと学校行事や部活動に取り組み姿は頼もしく、若い力を感しました。

これからの社会では、ますます女性の活躍が求められていく

高3学年主任
橋岡 源九郎

ご卒業おめでとうございます。清心での6年または3年間でさまざまなことを経験してきたことでしょうか。それらすべてがみなさんにとっていいことばかりではなかったかもしれません。成功したことあれば失敗したこともあったことでしょうか。しかし、それらすべてがあなたたち1人1人の個性の土台となり、これから積み重ねていかなければなりません。一瞬で理想

ようです。それは、厳しい競争社会に身を置くということでもあるのかもしれませんが。でもどんな時にも、清心学園で学んだ『心を清くし愛の人であれ』という教えを、忘れないでほしいと思います。そして、家族や友達、まわりの人々を幸せにできる、優しくしてストロングな女性に成長して欲しいと願っています。

最後になりましたが、校長先生はじめ、ご指導くださいました先生方、娘たちがお世話になりました。心より感謝申し上げます。そして、清心学園の益々のご繁栄をお祈りして御礼の言葉とさせていただきます。

的な女性になれません。毎日一歩一歩歩んで、たかさんのことを挑戦することがあなたたちを心(しん)のある女性に近づけてくれると思っています。ここ二子の丘で過ごした時間の中で思い描いた将来の姿を忘れず、周囲への感謝の気持ちとともに新しい場所で花を咲かせてほしいと願っています。

保護者の皆様には、これまで賜りました多大なるご理解とご協力に感謝申し上げます。同時に、皆様のご健康とご多幸、卒業生の益々のご活躍をお祈り申し上げます。



中3：記念館前芝生での集合写真



高3：高校中庭芝生での集合写真

中3生徒 保護者
杉山 典子

木の芽も膨らみ始め、春の足音が聞こえてきました。キラキラした満開の桜の下、記念撮影をしてから、あつという間に三年が経ちましたね。義務教育終了、おめでとうございます。

入学してからの多くの学校行事は、娘たちを大きく成長させてくれました。そして、一つの行事を成功させるごとに友人たちとの絆を深めたことと思います。

特にオーストラリア研修は、異国の文化に触れ、学んだ英語を使う貴重な体験ができました。心に残る大切な思い出になったことでしょうか。

中3学年主任
Sr. 森脇 尚美

聖母マリア様に見守られながら初めて二子の丘に登った日から三年が経ち、義務教育終了の日を迎えました。中三の皆さん、おめでとうございます。今、改めてこの三年間を振り返ってみますと、さまざまな思い出がよみがえってきます。年間を通して実施された数々の学校行事では、時にはクラスの仲間とうまくいかず苦しんだこともありましたが、皆で協力して取り組むことの大切さを学ぶことができました。また、大切な友だちや先生との出会いも別れもありました。笑顔と涙を繰り返しながら、

四月には高校生です。勉強の内容が難しくなり、自分の将来や人間関係で悩むこともあるかと思っています。

しかし、それら全てが青春時代の勉強です。失敗を恐れず積極的にチャレンジして、新たな自分を見つけてほしいと思います。「心を清くし、愛の人であれ」という校訓の通り、感謝の気持ちや人に尽くす気持ちを忘れずに、様々な場所で活躍できる女性へと成長することを楽しみにしております。

これまで優しく見守り、時には厳しくご指導くださった清心学園の先生方に、心より感謝申し上げます。そして、益々のご発展をお祈りいたしております。

皆さんはかけがえない命を実感し、感謝する心、祈る心を育んできましたね。中学校生活を送る中で、心身共に日々成長していく皆さんを、頼もしく思いながら見てきました。

四月からはよいよ高校生です。ご家族を始め皆さんを支えてくださる多くの方々のアドバイスを素直に受け止め、自分の目指す目標に向かって力強く前進していかけてください。高校生活では、新しい出会いもあることでしょうか。清心中学校で学んだことをさらに深め、「心の清い愛の人」として大きく成長していかれますように。聖母マリア様が皆さんの歩みをお導きくださいますように、心よりお祈りしています。



SSH第2期5年目

統括教務部長 室山 龍三

SSH事業も第2期5年目(通算10年目)をほぼ終了しました。今年度は学園創立130年目でもあり、SSHは120年代の10年間をとみに歩んできたわけです。

第2期の目的は、第1期の「女子生徒の理系進学支援プログラム開発」という目的をさらに進めて、「女性研究者育成に向けた教育モデル」をつくり、「成果普及・地域連携を強化」して、生徒が夢を抱いて科学の道を進めるように社会の意識改革を推進することです。これまでの路線を「より高く、より広く」していくものでした。

この5年間を振り返ると、「より高く」という点では、SSHの甲子園であるSSH生徒研究発表会で2



小柴昌俊科学教育賞受賞(秋山繁治教諭)
本校のSSHプログラムが高く評価されました

回の入賞、最もハイレベルな科学コンテストである高校生科学技術チャレンジで5回とも入賞(うち1回は世界大会派遣)、日本学生科学賞全国大会でも2回入賞(うち1回は世界大会派遣)など、これ以上ない高さに達したと言えます。特に理事長賞や大臣賞が3回あるのは目を見張ります。

一方、「より広く」という点では、「生まれ!理系女子」を全国に拡大して行きました。当初はSSH校の無い福山で始めましたが、昨年度は関西地域の京都大学で、そして、今年度はご承知の通り、首都圏の慶應義塾大学で実施して新たな参加校を得ました。理系女子生徒の輪を確実に拡大できました。また研究成果を幅広く普及する事業として、本校でも各種発表会を開催していますが、科学技術振興機構が各SSH校に「視察して良かった学校」を調査すると、清心の名前が多く挙がっていました。

さて、10年行くと在学中の3学年を除く、7学年が卒業して新しい道歩んでいきます。卒業生に追跡アンケートをとると、課題研究の絶大な効果を指摘する人が多くいます。SSH未経験の人とは器具の使い方から考察力、粘り強さ、発表力に至るまではつきり違いが表れると。忙しかつたけれど内容の濃い、充実した高校生活だった、と多くの卒業生が振り返っているという話を、現役生に贈りたいと思います。

進路指導部より

進路指導部長 多鹿 暢彦

大学入試センター試験を手直した、所謂「新テスト」に関するニュースを耳にすることが増えました。「新テスト」は学力の3要素、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を重層的に見ていくことを柱の一つにしています。そこで改めて注目されているのが「主体性・多様性・協働性」を見るAO入試です。

本校におけるこの方式での過去三年間の主な合格大学は、広島大・岡山県立大・神戸大・慶應義塾大・早稲田大・同志社大・関西学院大・津田塾大・聖心女子大等です。今年度は岡山県立大・慶應義塾大・津田塾大・同志社女子大等です。合格した生徒に共通しているのは、SSHなどの課題研究に、あるいは校外でのボランティア活動にやはり主体的・継続的に取り組んでいることです。特に広島大・岡山県立大・慶應義塾大などはSSHの実績が高く評価された結果です。

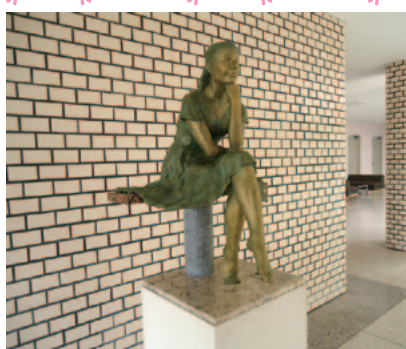
以上から言えることは、本校教育活動の質の高さであり、それに真摯に取り組むことの重要性です。また、「主体性・多様性・協働性」を身につけるには不断の取り組みが大切であることです。ただいづれも本校の生徒には用意された環境、また備わっている資質です。臆することなく各自の目標に向け頑張ってもらいたいと切に願っています。

生徒指導部より

生徒指導部長 香川 嗣治

今年度、生活指導担当者として嬉しいことが何件ありました。中庄駅で本校の生徒が、荷物をたくさん持ち、ゆっくり階段を下りているお年寄りへ、お手伝いしようかと声をかけている姿があったこと。来校者から「町中で家族が困っていたところ、清心生に親切にしてもらい非常に嬉しかった」と言っていました。という話を聞けたことなどです。

その社会がどのような社会かは、その社会の弱い立場の人がどのような扱いを受けているかわかるといいます。「心を清くし愛の人であれ」という校訓を胸に、困っている人、しんどい人、手をさしのべる事ができる生徒になってもらいたいと考えています。これからも保護者の皆様には本校の教育活動に対し、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



西平孝史氏作・ひまわり

音楽会を終えて

中学校音楽会実行委員長 中3 中桐 彩花

毎年恒例の音楽会。今年も音楽会だ、と楽しみにしていた人が大勢いたことでしょう。音楽とは人を幸せにする最高のものだと思います。各クラスのパートリーダーや実行委員を中心として、皆で団結することができました。だからこそ、素晴らしい音色を奏でることができたのだと思います。そんな最高の時間を皆で作りに上げていったことは、一人一人の胸に深く刻まれたことでしょう。また各クラスお陰で有意義な音楽会にすることができました。本当に感謝します。ありがとうございました。



中3合唱の様子

生徒会活動報告



中学生徒会副会長
向井 瑠風

私たち中学までしこ生徒会は十月から活動を始め、主にあいさつ運動や黙想の見直しについて取り組みました。毎週二回、朝のあいさつ運動を行い、あいさつの普及に努めました。また、生徒や先生方へ黙想についてのアンケートを行い、改めて黙想の大切さについて考えてもらえようようにと生徒会だよりを発行しました。その他、姉妹校の小学校と幼稚園へのクリスマスプレゼント作りや前生徒会から引き継いだプログラムの新も行っています。

今後も精一杯頑張りますので、応援よろしくお願いします。



高校生徒会副会長
高原 悠希

2月も終わり、平成27年度も残りわずかとなりました。今年度生徒会活動の報告をいたします。

生徒会は、月に一度のあいさつ運動やブログ運営などの活動に取り組みました。また部活動の運営費や交通費等の支給を行いました。4月は部活動紹介での司会進行、9月は文化祭の企画運営など、学校内の行事が円滑に行われるよう活動を行いました。特に文化祭では初めて校内全体の装飾を行うなど新たに工夫を施しました。3学期は新生徒会役員と協力し、2月の送別会や本年度決算報告書及び来年度予算案に取り組みました。

クリスマス会を終えて



クリスマス会実行委員長
高1 浅野菜乃佳

クリスマス会。中1はステンドグラス、中2はタプロー、中3はキャンドルサービス、そして分かち合いでは、聖歌隊とオーケストラ部の演奏が行われました。みなさんの努力の成果が発揮され、会場全体が温かい空気に包まれる、そんな素敵なクリスマス会でした。

同時に日々お世話になっている方々や困っている方々への細やかな贈り物として、みなさんからの献品・献金や各学年で作製したプレゼントを送りました。保護者の方や先生方、ご協力ありがとうございました。



高3 難波 佳子

私がNDSUに進学したのは、女性としての品格や能力の向上のためです。入学前教育で大学生と交流したとき、外見だけでなく内面から溢れる優しさと親身な姿勢に女性としての憧れを抱きました。大学の雰囲気や味わい安心したものも束の間、課題という壁に突き当たりました。NDSUクラスでは積極的な活動が多く、これらに不慣れな私にとって苦痛でした。ですが、互いを切磋琢磨し奮闘する姿に力をもらい、苦手なことも

克服することができました。

高校生活と大学での入学前教育を両立させるのは大変でしたが、NDSUクラスで自分を変えることができて良かったです。このクラスで得た力を胸に刻んで次に前進したいと思います。支えてくださった先生方や家族、友人に感謝します。ありがとうございました。

校外活動実績

SSH関連

- 第59回日本学生科学賞
- 岡山県審査 県知事賞
- 中央審査 科学技術政策担当大臣賞
- 高3 E 松井 千乃
- 高3 E 岩井 楓
- 第86回大会
- 高2 E 佐藤 里奈
- 高2 E 高野希良々
- International Conference on Biodiversity at Universiti Tun Hussein Onn Malaysia
- Best Poster Award
- 高2 E 高野希良々
- 高2 E 郷原 雪枝

文化関連

- 中学生の部 最優秀賞
- 中1 C 川井 里紗
- 中学生の部 奨励賞
- 中1 C 村川 羽叶
- 中3 D 前田 萌絵
- 奨励賞
- 中1 E 浅野菜乃佳
- 中1 C 石原 美玖
- 中1 C 塚岡菜々美
- 中2 B 大倉 彩葉
- 中2 B 尾藤 雛穂
- 倉敷地区高等学校読書感想文コンクール
- 優良賞
- 高2 D 平木 佑佳
- 佳作
- 高2 C 竹内 ゆい
- 高1 A 守安 美咲

英語関連

- 第65回全国小中学校作文コンクール
- 岡山県審査 入選
- 中2 A 難波ゆい
- 第67回高円宮杯全日本中学校英語弁論大会
- 岡山県大会
- 暗唱の部 銀賞
- 中1 C 矢木 清葉

弁論の部

- 第2位 中3 B 加藤りく穂
- 第11回倉敷市長杯中学校スピーチコンテスト
- 第4位 中3 A 川島 夕夏
- 第56回ライオンチャリティロトローイ中学校英語スピーチコンテスト
- 第5位 中3 A 寺岡久美子
- 岡山県高等学校教育研究会 英語部会主催 岡山県高校生英語レターコンテスト
- 最優秀賞
- 高1 E 浅野菜乃佳
- 岡山県高等学校教育研究会 英語部会主催 第9回岡山県高校生英語スピーチコンテスト
- 優秀賞
- 高2 A 津野瀬そら
- 第1回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会
- ベストスピーカー賞
- 高2 E 森年 エマ日向子
- 高1 E 岡田 佳奈

平成二十七年年度 後援会後期委員会報告

平成28年1月7日本校において、委員40名の方々の出席を得て、後期委員会が開催されました。協議・報告事項では町田会長が議長となり、次のことが決定されました。

①バザー収益金について

収益金の使途については、「校舎改修整備等助成資金」として学校の積立金の一部に充当するとともに、各種福祉施設・団体への「クリスマス献金」の一部として援助することが決まりました。

バザー収益金 1,156千円

②卒業寄付について

バザー収益金の使途と同様に「校舎改修整備等助成資金」として援助することが決まりました。

卒業寄付金 1,170千円